地元の魅力　野鳥

平成２７年６月

　最近は我が家の近辺でも鹿、猪、猿などによる野菜栽培に被害を与える獣けものが出没し迷惑しています。
また、野鳥も特定外来生物指定 ガビチョー(画眉鳥)が、ここ数年で爆発的に増えており、半月程前には家のすぐそばの樹木から巣立っていきました。
しかし、色々な野鳥を見る事ができる自然を楽しんでいます。

本日２１日(日曜日)６時前にコジュケイが畑にて親子連れで餌をついばむ姿を見る事が出来ました・・親２羽とヒナ３羽。
驚かさないように近づいて見てみると初めてみる野鳥であり、カメラ取りに戻り写真撮影、少し離れていたので拡大撮影したがピント今一歩、野菜畑に混じりこみベストショットの機会逃す。

外観はキジバトとよく似ており同じくらいの大きさ、赤茶色とクリーム色が交じったような模様が全身にあり自然に同化。
早速ネット検索しコジュケイと確認できました。
非常に用心深い鳥で、普段は薮の中で暮らしているため、なかなか姿を見るチャンスがありません。
初めて目にしたので、地元の魅力にアップしてみました。

尚、よく見かける野鳥を以下に記載します。
・カラス ・トンビ ・モズ ・サギ ・カモ
・カワウ ・セキレイ・ウグイス ・キジバト
・ヒヨドリ ・ムクドリ ・スズメ ・ツバメ
・シジュウカラ・・・名前のわからない鳥もいます。

自宅前の畑で撮影

コジュケイについて調べてみました。

キジ目キジ科　全長：27㎝
平地から低山の雑木林に留鳥としてすみ、積雪地にはあまりいないとされている。
人里近くにも多い。農村地帯の雑木林や竹ヤブの中から、鳴き声だけはとてもよく聞こえてくるが、姿を見ることは少ない。それでも、子育ての季節にはずらずらと子ども連れで歩いているところを見かけることがある。小さな体に、とても艶やかな赤褐色がとても綺麗。

チョットコイという大声を繰り返す（繁殖期）。
本州から九州の根雪のない地域の林の地上にすむ。
大正時代に中国から移入された。
キョッ、キョッと繰り返したり、ピョーという大声も出す。

コジュケイの画像

Yahoo!検索（画像）